ぜんせき THE ZENSEKI

第7712号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

7月28日（金曜日）　2017年（平成29年）

発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

流通網再構築 実証3事業を採択

離島の無SS状態解消など

全石連

全石連の石油製品流通網再構築実証事業審査委員会（委員長＝久留島守広東洋大学国際地域学部教授）はこのほど、自治体などとのコンソーシアム形成で実施する再構築実証事業として「十島村における石油製品安定供給事業」、安全性の確保を前提とした新たな機器などの技術開発を実施する技術開発事業として「ホームタンク内残量可視化システム実証事業」および「災害時の緊急時用燃料計量機開発事業」の3申請案件を採択した。

「十島村における石油製品安定供給事業」は宝島売店組合（鹿児島県十島村、平田伊佐美理事長）が申請。村は有人7島・無人5島の計12島で構成されるが、現在、有人7島にはSSなどの販売拠点はなく、住民は石油製品を鹿児島本土や奄美大島の販売業者から直接購入し、村営定期船で運搬してもらい各家庭で保管している。しかし、定期船は週2便で積載できる量には制限があるほか、悪天候で欠航してしまうと安定供給が危ぶまれる。

このため同組合と村、村営船代理店などがコンソーシアムを形成。既存の販売施設の隣接地にガソリン、軽油のポータブル計量機とSS整備に波及させ、村との災害時協定締結による災害対応力強化や個人宅での石油製品貯蔵を解消し、住民の安全性向上を図りたい考えだ。

「ホームタンク内残量可視化システム実証事業」は、ベンチャー企業のゼロスペック（本社・北区、多田満朗社長）が申請。油面計測用センサーと発信機を内蔵したホームタンク給油口蓋一体型スマートセンサーおよび専用ソフトを開発する。各顧客住戸にある灯油ホームタンクの給油口蓋をスマートセンサーに替えることで、油面計測データをクラウドサーバーに発信し、専用ソフトで事務所に居ながら各顧客の灯油残量の可視化を可能にする。SSの人手不足対策として業務負担を軽減することや、灯油残量の可視化で異常な数量変化を感知し、盗難・漏洩・住民の異変等の察知にもつながるなど、事業者・消費者の安心・安全の確保に資することが期待される。

「災害時の緊急時用燃料計量機開発事業」は、石油製品販売も手がける横田瀝青（本社・姫路市、横田勝好社長）が申請。災害発生時の使用を念頭に、円滑な燃料供給維持に貢献するため、タンクローリーと計量機を直接ホースで接続して使用する計量機を開発する。

大規模災害発生時には中核SSにも多くの車両が殺到し、緊急車両への給油に支障をきたす恐れがある。同計量機を開発することで、緊急車両専用の仮取扱所を臨時的に設置し、燃料供給を分散することができる。また、避難所などの安全な空地に設置することで、一般車両への臨時給油拠点として活用することも可能となる。

すでに消防側とも「災害時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱いなどの安全対策および手続きに係るガイドライン」に沿った高度な安全対策を協議中で、取扱説明書なども作成する。地元の防災訓練で実証し、具体的な安全対策とともに所轄消防機関などの承認申請を行う計画だ。

官公需方針を閣議決定

「石油販売業者への配慮」再び

政府は25日、官公需法に基づく「2017年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」を閣議決定した。官公需の中小企業および小規模事業者向けの契約目標や受注機会の増大に向けた措置を定めたもので、国や国の出先機関、地方公共団体などに周知している。15年度から盛り込まれるようになった「中小石油販売業者への配慮」の項目は、今回も同じ内容で記載された。

「中小石油販売業者に対する配慮」は、官公需適格組合の証明を受けている石油組合が国や国の出先機関、地方公共団体との間で災害時の燃料供給協定を締結している場合、災害時だけでなく平時においても燃料供給が安定的に行われるよう、地方公共団体などに分離・分割発注や随意契約などの配慮を行うよう要請したもの。

一昨年に初めてこの項目が明記されて以降、全石連や各都道府県の石油組合は、基本方針に沿った官公需契約の締結に向けて働きかけを強化しており、昨年からは全石連が官公需部会を設置して、同方針の周知徹底に取り組んでいる。

今年6月には資源エネルギー庁と中小企業庁の担当課長名で各府省の官公需担当課長宛てに、災害時協定締結の検討と中小石油販売業者に対する配慮方針の徹底を求める文書を発信し、国の機関や国立大学などの燃料調達方針に反映するよう要請している。

小野資源・燃料部長に聞く

元売再編機に適正環境へ

7月5日付で前職の資源エネルギー庁長官官房国際資源エネルギー戦略統括調整官から同資源・燃料部長に就任した小野洋太氏。小野部長に今後の石油政策のあり方について話を聞いた。

Q 日本の石油業界の印象と抱負を。

国内市場は石油製品の需要減に加え、温暖化対策も加わって、石油業界を取り巻く環境はさらに厳しさを増している。一方で、日本は自然災害が非常に多く、東日本大震災以降は政府として石油産業の強靭化対策に取り組み、災害対応力が増している。石油業界の方々には精製からSSの流通に至るまで、石油製品の安定供給確保に真剣に取り組んでいただいている。そして災害が発生するたびに課題や問題点を整理し改善を進めるなど、不断の努力も続けられていることに改めて敬意を表したい。

Q 石油精製・流通研究会の最終報告書を踏まえた石油政策の課題について。

石油製品の安定供給確保には事業継続が前提となる。報告書でも指摘されているように、国内は再編・統合による事業の効率化・合理化を進めて競争力を高めるとともに、多角化や海外展開などを進めることが重要。今後は報告書の提言を踏まえ、各社がどう具現化していくかが問われる。

エネ庁としては、各社がすでに取り組むビジネスや今後取り組むであろうビジネスをしっかり支援していきたい。各社が描く戦略をお聞きし、共有させていただきたい。

Q 精製元売会社の再編の動きについて。

再編が進むことは良いこと。こうした取り組みを後押したい。石油業界は過当競争が行われてきたので、これを機に適正な取引環境を確立していただきたい。また、海外展開を含めた投資にも1社で取り組むより、再編によって取り組むほうが好ましいと考えている。

7月5日付で前職の資源エネルギー庁長官官房国際資源エネルギー戦略統括調整官から同資源・燃料部長に就任した小野洋太氏。小野部長に今後の石油政策のあり方について話を聞いた。

Q 日本の石油業界の印象と抱負を。

国内市場は石油製品の需要減に加え、温暖化対策も加わって、石油業界を取り巻く環境はさらに厳しさを増している。一方で、日本は自然災害が非常に多く、東日本大震災以降は政府として石油産業の強靭化対策に取り組み、災害対応力が増している。石油業界の方々には精製からSSの流通に至るまで、石油製品の安定供給確保に真剣に取り組んでいただいている。そして災害が発生するたびに課題や問題点を整理し改善を進めるなど、不断の努力も続けられていることに改めて敬意を表したい。

Q 石油精製・流通研究会の最終報告書を踏まえた石油政策の課題について。

石油製品の安定供給確保には事業継続が前提となる。報告書でも指摘されているように、国内は再編・統合による事業の効率化・合理化を進めて競争力を高めるとともに、多角化や海外展開などを進めることが重要。今後は報告書の提言を踏まえ、各社がどう具現化していくかが問われる。

エネ庁としては、各社がすでに取り組むビジネスや今後取り組むであろうビジネスをしっかり支援していきたい。各社が描く戦略をお聞きし、共有させていただきたい。

Q 精製元売会社の再編の動きについて。

再編が進むことは良いこと。こうした取り組みを後押したい。石油業界は過当競争が行われてきたので、これを機に適正な取引環境を確立していただきたい。また、海外展開を含めた投資にも1社で取り組むより、再編によって取り組むほうが好ましいと考えている。

災害時SS情報の重要性

資源エネルギー庁は、このほど中核SS・小口燃料配送拠点における「災害対応ガイドライン」改正版を作成、石油組合と約2千ヵ所の対象拠点への周知を開始した。東日本大震災を受けて2012年度から整備が始まった中核SSと小口配送拠点は、その後の発災時に期待された機能を全うしてきたが、今回、熊本地震などの教訓を反映させて、2つの大きな改正が盛り込まれている。

まず、報告が求められる災害時の定義を、地震に関して従来の震度6強から、震度5強以上とした。実際の運用面では、他の重要インフラと平仄（ひょうそく）を合わせて震度5弱から、報告が求められるケースが多くなっている。ちなみに17年の震度5弱以上は、2月28日の福島の5弱、6月20日の大分と25日の長野の各5強、7月1日の北海道と2日の熊本の各5弱、11日の鹿児島の5強の計6回発生している。このほか今月中旬の福岡大分豪雨災害、今回の秋田県や佐渡島の豪雨に際しても、国（資源エネルギー庁石油流通課）から当該地域のSS情報が求められている。

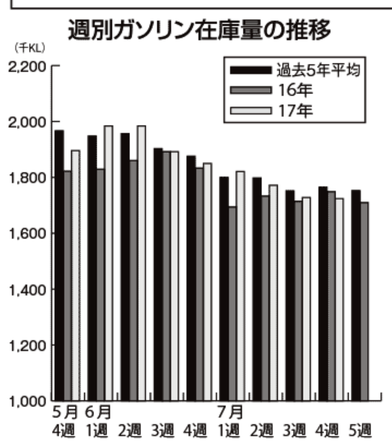
この情報収集方法をインターネットの安否確認システムを活用した方法に進化させたのが2つ目の修正ポイントで、パソコンやスマートフォンのアドレスを登録し、必要情報を当事者自らが発信し、石油組合や全石連とともに国が共有する。まず、中核SSと小口配送拠点の登録が先行するが、今年度から整備が始まった住民拠点SSも、このシステムにより災害時の状態が可視化されることになる。

SSスタッフの安全確認、通電・道路を含めたライフラインの状況、停電の際の発電機の稼働状況、油種別の在庫状況などが集約され、スピード感をもって公表される。在庫手当てなどの必要な支援措置にもつながっていく重要な情報基盤となる。

地震と水害を併せて、ほぼ月1回、国から情報を求められる災害が起こっているのが日本列島の実情だ。幸いにも、堅牢強固なSSは、その多くが創業以来、一度も被災していない場合が圧倒的に多く、被災地にあっても建築的な被害が軽度なのが実情だが、月1回の発災ペースは紛れのない事実である。

発災時に、まず自らと家族、スタッフの安全を確保しつつ、被災地と被災者から求められる機能を発揮することがなによりも重要だが、SS自体の情報発信も重要な使命だ。

週別ガソリン在庫量の推移



7月4週 G在庫11週ぶり余剰感解消

石連週報による7月第4週（16～22日）のガソリン出荷量は、前週比3・8%増、前年比1・5%減の172・4万キロリットルに取り崩され、11週ぶりに余剰感が解消した。

軽油出荷量は前週比7・6%減、前年比12・6%増の67万キロリットルで好調が続いた。在庫は前週比1・5%減、前年比5・3%減の142・2万キロリットルと低水準になっている。（2面にDATA）

出光 JXTG光 G卸0.5円下げ

系列店筋によると、JXTGエネルギーが通知した27日からの統合仕切り改定幅は、前週比でガソリン0・5円下げ、灯油・軽油・A重油はいずれも据え置きとなった。

また、出光興産が通知した27日からのSS向け週決め仕切り方針は、前週比でガソリン0・5円下げ、灯油・軽油・A重油はともに据え置き。

今週のガソリン小売市況概況 （7月4週）

	全体概況	ベンチマーク 前週	ベンチマーク 当週	備考 ※斜字はフル
北海道	⇑	￥130	￥130	*札幌市・地場・系列*
北東北	⇗	￥125	￥125	秋田市・広域・系列
南東北	⇗	￥130	￥130	*仙台市・広域・系列*
信越	⇗	￥124	￥124	新潟市・地場・系列
北関東	⇗	￥121	￥121	宇都宮市・異業種・PB
首都圏	⇗	￥120	￥120	千葉市・異業種・PB
山静	⇗	￥131	￥131	*静岡市・広域・系列*
東海	⇗	￥122	￥122	鈴鹿市・広域・系列
北陸	⇗	￥121	￥125	福井市・地場・系列
京阪	⇗	￥126	￥126	大東市・子会社・系列
阪神	⇗	￥125	￥125	神戸市・地場・系列
山陽	⇘	￥124	￥124	岡山市・地場・系列
山陰	⇗	￥130	￥130	*米子市・地場・系列*
四国	⇗	￥136	￥136	*高松市・地場・系列*
九州北	⇗	￥127	￥128	*福岡市・地場・系列*
九州中	⇗	￥120	￥120	熊本市・広域・PB
九州南	⇗	￥128	￥128	宮崎市・地場・PB

⇑0.5円超上昇、⇗小幅上昇、⇒横ばい、⇘小幅下落、⇓0.5円超下落

出光昭シ 『be』ローリー始動

出光興産と昭和シェル石油は28日から、両社の協業化アライアンス名『be（ブライター エナジー アライアンス）』をステッカー貼付したタンクローリーを全国で運用開始する。両社の全ローリー1300台中、20キロリットル以上の大型車を中心とする900台に貼りPRをする。また、協業化推進の一環で10月以降、両社の製油所・油槽所間でローリーの相互乗り入れをスタートする。

出光・東京油槽所で実施された運用開始の式典後に記者会見した出光の月岡隆社長は「物流部門における協業化の第1歩。ブライターエナジーアライアンス名（ともに輝くエネルギーの未来）に我々は強い思い入れがある。全国を走るローリーは動く広告塔でもある」、昭シェルの亀岡剛社長は「強い石油会社をつくる必要がある。アライアンスが着実に進んでいることをシンボリックに〝見える化〟し、情報発信していく」などとそれぞれ述べた。

両社長がアライアンス名を貼付したローリー前に並んだ

レギュラー小売 3週連騰131円強

エネ庁週市況

資源エネルギー庁による小売価格調査（24日・消費税込み）レギュラー全国平均は前週比0・2円高の131・1円と、3週連続で値上がりした（累計0・8円高）。

ハイオクも0・2円高の141・8円。軽油は110・0円と横ばい。灯油は18リットル店頭が1円安の1370円、配達が1円高の1515円。（2面に県別データと地域概況）

渋滞発生回数 3.4%増加予測

お盆・高速各社

高速道路各社が発表したお盆期間（8月5～16日）における高速道路の渋滞予測によると、10キロメートル以上の渋滞発生回数は全国で下り線が214回（前年実績は218回）、上り線が298回（277回）の合計512回（495回）と3・4%増を見込んだ。うち30キロメートル以上の大渋滞は下り16回（19回）、上り24回（28回）の計40回（47回）。

会社別・地域別では、東日本と西日本で減少する一方、中日本は大幅増を予測した。

ピークは、下りが8月11日、上りが13～15日と分析。各社は分散利用を呼びかけている。

九州北部豪雨に300万円の義援金

JXTGエネ

JXTGエネルギーは26日、九州北部豪雨の被災者支援として、中央共同募金会による「大雨災害義援金」を通じて300万円を寄贈すると発表した。

ポンプかいらんど

▼ピーテル・ブリューゲル一世の最高傑作「バベルの塔」が24年ぶりに来日した。小学校時代に美術の教科書で圧倒的な迫力に衝撃を受けて、1度は現物を見たいと思っていた。衝動が抑えきれず、国立国際美術館へと出かけた▼ブリューゲルはバベルの塔を異なった解釈で複数制作しており、来日したのはオランダのボイマンス美術館が所蔵する1568年ごろの作品だが、実際に見てみると迫力だけでなく、漆喰や煉瓦といった材料を運ぶ人や装置、塔を取り巻く情景など細部にわたって緻密に書き込まれていることに驚く。バベルの塔の高さは推測すると510メートル程度だという。通天閣より高いがスカイツリーよりは低い▼塔は神の怒りを買ったことで崩れ落ちたことから人間の過信や傲慢ぶりを戒める寓話として取り上げられることが多く、タロット占いで不吉を暗示するカードのモデルにもなるほどだが、他方、宗派によっては一致団結して困難なことに挑戦し、新しい秩序を作り上げたとする解釈もあるようだ▼SS業界は原油価格の乱高下や需要減、突発する災害などで大打撃を受けているが、地場の販売店は懸命に生き残っている。きめ細かな営業活動で地域の顧客をしっかりとつなぎとめ、いかなる障害を受けても崩壊しないくらい、不動の経営体制を構築してほしい。

きょうの紙面
2面　今週のガソリン市況
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、週動向調査、石連週報
3面　東北版・東北に広がる若手の輪／九州版・各県理事長に聞く／トレンドファイル／webアンケート
4面

洗浄力UP! ランクUP!!

最新コーティングの仕上がりに満足し、
洗車ポイントカードでリピートを促す。
目指したのは洗車による生涯顧客の創造です。

New Model Carwash MIYABI
最新ドライブスルー洗車機 雅（みやび）

洗浄力UP 汚れに強くボディに優しい洗浄
これまでの洗浄動作を刷新!
ブラシに最適な制御で洗浄力がさらに向上!!

ブラシの優しさが確認されました
「サイフレックスブラシII」は第三者公的機関にて洗浄試験を行い、その優しさが確認されました。

ランクUP バディカードシステム搭載! 業界初
洗車でポイントが貯まる! 新洗車会員!!
ブロンズ会員価格 → 規定のポイントが貯まるとシルバー会員にランクアップ → シルバー会員価格 → 規定のポイントが貯まるとゴールド会員にランクアップ → ゴールド会員価格

使えば使うほどお得に洗車ができる新システムで洗車生涯顧客を創造する!
※バディカードシステムはオプションです。

Beautyu ビユーテー株式会社
機械遺産認定の信頼と洗車機累計販売台数世界NO.1の実績
SINCE 1965
本社 名古屋市港区木場町2番地 TEL 052-692-2101（大代表）
ビユーテー　検索　http://www.beauty.gr.jp

ISO14001
ビユーテー本社事業所は環境管理に関する国際標準規格ISO14001の認証を取得しています。

■Network of the Beauty
北海道支店　仙台支店　上信越支店　埼玉支店　東京支店　千葉支店
東海支店　北陸支店　大阪支店　広島支店　福岡支店　南九州支店

激戦地除き一服感

今週のガソリン市況　7月第4週

三重 PB乱売戦で115～116円も

九州 大勢は120円台後半水準に

◎北海道…札幌はセルフ129円程度、フル130～2円、安値量販セルフ127・8円表示で変わらず。

◎東北…セルフ価格は、仙台が横ばいの125～8円、盛岡は2～3円上昇し120～4円、山形市は3円前後値下がりして120～133円、青森市は下値が軟化し116～129円、秋田市は125～8円で変わらず、福島市も133円中心で横ばいとなっている。

◎信越…新潟市内で120～5円、上越や長岡市内でセルフ120～6円。

◎北関東…前橋・高崎は横ばいでフルが130～2円、セルフは127～9円。宇都宮も横ばいでフル126～9円、セルフ123～6円、足利市や佐野市も同様に128円前後。茨城は122～9円で推移。

◎首都圏…埼玉は横ばいで、県央部・南部126～7円、東部・西部124円前後。千葉は120～7円中心。都内の主要幹線沿いは一部に軟化傾向も見られるが、120円台半ばが中心となっている。

◎山静…静岡は横ばいで、静岡市内がセルフ129円前後、フル131円前後。県東部が123～6円、西部が127～9円。山梨は126～9円と横ばいで推移している。

◎東海…愛知はわずかに上昇し現金125円前後のセルフが増えている。激戦の常滑はコストコなど113円のまま。岐阜はほぼ120円台半ばで落ち着いている。三重だけが中物四日市のPB11立った福井で5円程度上昇し、石川と富山も2～4円値上がりして123～8円が増加。

◎近畿…横ばい傾向で、系列平均は京阪方面が124～6円、阪神方面が125～7円。奈良は橿原市方面の量販店で117～9円も散見される。

◎中国…岡山市内中心部は2円程度値下がりしセルフ122～4円前後、倉敷市内も2円程度軟化してセルフ116～8円程度。山口市内はセルフ126～8円程度、宇部市内はセルフ123～5円前後で横ばい、下関市内はセルフ123円が中心となっている。鳥取市内は3円程度上昇し125円中心、米子市内は1円程度値上がりして128円中心。

◎四国…全般的に横ばいで推移している。徳島市内はセルフ126円中心、高松市内はセルフ132円が中心。

◎九州…福岡市中心部は127～130円前後が続いているが郊外では125～7円前後が多い。佐賀県は125～130円。長崎市内は131～5円が目立つ。熊本県は量販店が120円台を維持。鹿児島県は低価格地域が点在しているが、鹿児島市内は137円前後が多い。

官公需システムで説明会

利点、コストなど要所聞く

茨城

官公需のシステム構築に向け、多くの組合員が参加した官公需カードシステム説明会

【水戸】茨城石商・協（宇田川仁一朗理事長）は24日、水戸市内で官公需カードシステム説明会を開いた。神奈川石協（渡辺晴夫理事長）が活用している同システムの内容を把握し、導入の可能性を探るための説明会には多数の組合員が参加した。

あいさつで宇田川理事長は「神奈川ではカードシステムを使い官公需で成果を収めていると聞いている。このシステムで組織にとって良い方向に進めるかについて活用法を探りたい」と述べ、組合員に積極的な議論を促した。

説明会には神奈川石協の植栗正光専務理事と森清志業務課長、システム提携会社アイネットの坂井昇第1SS事業部部長、小杉顕二同課長代理が出席。植栗専務がカードシステムを導入するまでの経緯や現状を解説し、緊急時対応や汎用性の高さでスケールメリットの創出につながっていることを明らかにした。また、アイネットはシステムを導入した場合の経費などを中心に説明し、組合の連携によりメリットが向上するなどと指摘した。

質疑応答では「どれほどの参加者があればメリットとなるのか」「個々の事情に応じる多様性はあるのか」などの意見が出された。植栗専務は「あきらめずにやることで、いまではこのシステムが様々な方面に受け入れられてきた」と述べ、組織として必要なシステムと強調した。

全農エネ問題を説明

関東支部

全石連関東支部（浜田忠博支部長）は21日、理事長・経営委員長合同会議を開き（写真）、来年度税制改正要望やクレジットカードセキュリティ対策などについて検討した。

また、浜田支部長が各地で問題となっている全農エネルギーSSによるガソリンなどの廉売問題に関して、これまでの経緯や今後の対応方針などについて説明した。

冒頭あいさつで浜田支部長は「8月には浜松市にコストコがオープンする。まさに地場SSの存続にかかわる事態であり、元売の良識も求められる。夏場の需要期を無事に乗り切ることを願っている」と述べた。

議事では、全石連の坂井信常務理事が来年度税制改正要望やクレジットカードセキュリティ対策などについて解説した。

また、来年度の支部総会は6月7日に茨城県内で開催することを了承した。

業界の将来像探って

四国支部

【徳島】全石連四国支部（天野博司支部長）は21日、徳島市内で支部会を開催し、全石連の浦辻敏夫経営相談室長が「経営相談室の活動について」と題して紹介したほか、全石連の各部会報告などを行った。

冒頭あいさつで天野支部長は「JXTG誕生後、業転玉と系列玉の仕切りの格差が縮小してきており、現在乱売している地域でも徐々に廉売店と一般店の販売価格差が縮小し、SSのマージンも段々と良くなってくると思う。しかし、人手不足は徐々に深刻化しており、セルフ化がますます進展していくだろう」と、人手不足対策の重要性を訴えた。また「フランスのマクロン政権は2040年までにガソリン車、ディーゼル車の販売を禁止する方針を示した。ボルボ社はガソリン車・ディーゼル車からの撤退を表明するなど、社会の潮流がEVなどに向かっているいま、我々石油販売業者は今後どのような方向に進んでいけば良いのか。若手の会でも、将来の業界像をどのように考え、変革していくのか、9月に開催予定の四国地区青年部交流会で意見を出し合い、石油販売業者・SSの将来に備えてほしい」と期待感を込めた。

調印なら平時連携を

近畿支部

全石連近畿支部（西尾恒太支部長）は25日に大阪市内で理事長会を開催し、国土交通省近畿地方整備局と締結予定の災害時燃料供給協定に関して、地場業者や官公需適格組合などの活用を求めていく方針を固めた。また市場動向について意見交換したが、各理事長や副理事長からは各地で量販店などによる過当競争が繰り広げられ、地場業者が窮状に追い込まれていることを懸念する声が相次いだ。

西尾支部長（写真）は19日に自民党・石油流通問題議員連盟の野田毅会長やSS支援プロジェクトチームの山口泰明座長らを訪問し、来年度の予算や税制改正の要望を行ったことを解説。特に予算面では、顧客ニーズの多様化対応や商圏分析機能などを備えた「経営分析財務ITシステム機器」を補助対象に追加要請したと強調した。

女子野球選手権2大会をサポート　JXTGエネ

JXTGエネルギーは24日、同社がオフィシャルスポンサーを務める全日本女子野球連盟が、8月に「第13回全日本女子硬式野球選手権大会」（伊予銀行杯。8月5～10日、松山市の坊ちゃんスタジアム・マドンナスタジアム、参加32チーム）、および「第3回全国女子中学生硬式野球選手権大会」（4～6日、神奈川県平塚市のバッティングパレス相石スタジアムひらつか・東海大学硬式野球部グラウンド、15チーム）という2大会を開催すると発表した。

女子野球の競技人口は年々増加しており、昨年9月に開催された「第7回WBS女子野球ワールドカップ」では日本代表・マドンナジャパンが5連覇を達成するなど、今後のさらなる盛り上がりが期待される。

青年部交流会へ期待を寄せる四国支部

〝ES〟の視点が必要

兵庫

【神戸】兵庫石商・協（田中一彦理事長）は21日、神戸市内で常任理事会を開催し、新支部長として大前善彦氏（西神明石支部、植田石油常務・JXTG系）と高橋武士氏（三木支部、高橋石油専務・キグナス系）が就いたことを発表したほか、『満タン&灯油プラス1缶運動』への協力を要請した。

田中理事長（写真）は、原材料価格高騰などでビールやハガキなど生活にかかわる商品が相次いで値上げされたことに触れ、「他の業界では採算を考慮して値上げに踏み切っているにもかかわらず、我々の業界は逆に値下げしている。業界の競争構造を変えて適正利潤を確保し、人材確保や育成の環境作りに向けて再投資することがますます重要になる。安く売るのは大量消費を想定した商売のやり方で、働き手の犠牲の上に成り立っている面もあることから未来はなく、これからの生き残り策としてES（従業員満足度）を追求していく必要がある」と述べた。

生活、産業、地域を支える　石油の力SSの力

千葉県茂原市 ▶vol.250◀

地域貢献

ノウハウ活かしニーズを形に

歴史のある街で歴史を持つ地場企業としての責務を果たそうと取り組む石油販売業者がいる。千葉石油（本社・千葉県茂原市、安藤順夫社長・出光系）は、創業から110年、門前町として栄えた茂原市中心地でいまも本社を構える。安藤社長は地域社会に貢献する企業として社員とともにスキルアップを図りながら、「SSが培った必要とされる車に関するサービスを進化させたい」と新ビジネスにも意欲をみせる。

同社は先ごろ2日間にわたり社員35人を対象にした上級救命講習を開いた。人命にかかわる救急救命講習は、ロードサイドビジネスとして運営するSSの従業員が受講することは効果的ではあるが、1日8時間、従業員を拘束する内容の上級までも企業単位で参加することは決断が必要。講師を務めた消防職員も「企業単位で上級救命講習に参加されるのは初めて」と驚きを隠せない。

地場企業として2年間をかけ全社員に受講を進め、SSにAEDを設置するなど、地域の安全拠点としての役割を果たすことに努力を続ける一方で、社会に貢献するという方針を基盤に新たなビジネスモデルを創出しようという試みにも取り組む。

産業用燃料でも地域に幅広い販売網を持ち、地場産業の燃料供給で貢献してきたノウハウを活かし、SSと社会福祉事業の連携で相乗効果を追求。その指揮にあたる安西則昭部長は、SS販売部と兼務し「トータルサービス事業部」の責任者として新規事業の開拓を進めている。

トータルサービス部は現在、同社が行うカーメンテナンスなどを介護制度などに応用する試みを続け、ビジネスとして地域社会に貢献することを目指す。具体的には、介護が必要な高齢者などに必要な特殊車両の整備などで、同社に蓄積されたノウハウを活かそうとしている。

安西部長は「門前町として参道の灯かりをともすところから始まった我が社の歴史を大事にしたい」と話す。安藤社長も企業として新たな取り組みを続ける理由を「介護関係のビジネスにとって、人を安全に移動させることは大切なこと。それをアシストし、相談に乗れるだけの技術や知識を持つビジネスパートナーとして、我々は役立ちたい」と意欲を示す。高齢者社会がSSにとって需要減につながるという既存の予測に反し、SSから得た知識でさらなる発展を目指すという発想だ。

同社は地域とともに生きることを選択し、そのために必要な努力を怠らない。

上級救命講習は1日8時間に及ぶ

DATAコーナー

■石油先物市場・7／26
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：¥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

16：30現在	前日比
（前日出来高2,190枚）	
49,400	△1,160
49,370	△1,380
49,050	△1,150
48,880	△1,170
48,750	△1,150
48,730	-
（前日出来高1,012枚）	
47,850	△830
47,970	△660
48,810	△770
49,430	△820
49,470	△900
49,100	-
（前日出来高-枚）	
48,000	0
48,000	0
48,000	0
48,000	0
48,000	0
48,000	-

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

限月	16：30現在	前日比
ガソリン	（前日出来高-枚）	
⑨限月	49,800	0
⑩限月	48,400	0
⑪限月	47,100	0
⑫限月	47,600	0
①限月	47,600	0
②限月	47,600	-
灯油	（前日出来高1枚）	
⑨限月	47,050	0
⑩限月	48,000	△500
⑪限月	49,010	0
⑫限月	48,610	0
①限月	49,000	0
②限月	49,000	-
軽油		
⑨限月		
⑩限月		
⑪限月		
⑫限月		
①限月		
②限月		

原油指標

		前日比
国内指標	$／B	47.43（△0.81）
	¥／KL	33,688（△749）
WTI	$／B	47.89（△1.55）
	¥／KL	34,015（△1,270）

■SS店頭市況週動向調査・7／24（単位：¥／L、個値上げ、→同値、↓値下げ）

レギュラー								
北海道	132.5	↑	静岡	131.9	↑	鳥取	128.0	↑
青森	128.3	↓	山梨	130.9	↑	島根	134.3	↑
岩手	127.8	↑	愛知	128.9	↑	山口	130.0	↑
宮城	129.0	↓	三重	130.9	↑	徳島	127.7	↑
福島	130.7	↑	岐阜	131.7	↓	高知	136.0	→
秋田	130.0	↑	富山	130.7	↑	愛媛	132.1	↑
山形	132.7	↑	石川	129.5	↑	香川	131.5	→
福島	129.4	↓	福井	132.4	↓	福岡	130.3	↑
長野	133.3	↑	滋賀	127.0	→	大分	135.4	↓
群馬	129.3	↑	京都	132.5	↑	佐賀	133.5	↑
栃木	129.9	→	大阪	130.5	↑	長崎	138.6	↑
茨城	130.0	↑	奈良	128.5	↓	熊本	130.4	↑
千葉	128.7	↑	和歌山	131.5	↑	宮崎	130.8	↑
埼玉	127.0	↑	兵庫	129.9	↑	鹿児島	138.7	↓
東京	134.0	↑	岡山	125.4	↓	沖縄	139.7	↓
神奈川	129.3	↓	広島	129.2	→	全国	131.1	↑

■国内供給統計（石連週報）・7月第4週末（単位：千KL、%）

	東日本	西日本	合計	前週比	前月比	前年比
①原油処理量	2,253.8	1,305.4	3,559.2	102.8%	115.4%	99.3%
②製油所稼働率	91.8	89.4	90.9	2.5	12.1	6.5
③石油製品在庫量						
ガソリン	922.0	801.6	1,723.7	99.7%	91.1%	98.5%
灯油	1,251.0	485.6	1,736.6	104.1%	117.3%	83.0%
軽油	701.9	719.9	1,421.8	98.5%	97.7%	94.7%
A重油	439.8	335.2	775.0	96.6%	96.5%	103.8%
6油種計	5,060.4	3,828.1	8,888.5	99.4%	100.5%	98.7%
④製品出荷量推計						
ガソリン	681.6	336.9	1,018.5	103.8%	105.5%	96.3%
灯油	47.0	24.9	71.8	99.4%	89.8%	67.3%
軽油	482.6	187.5	670.2	92.4%	111.4%	112.6%
A重油	114.0	89.6	203.7	98.5%	115.0%	109.2%
6油種計	1,605.1	726.2	2,331.3	101.5%	112.1%	100.0%

全石連の
リサイクルトナーカートリッジ
業界最長クラスの18か月保証
送料無料・不要カートリッジ回収無料
日常業務の必需品であるトナーカートリッジを豊富にご用意。全メーカー取り扱っています。

canon	印字枚数 2,000 枚 @1.90円	
カートリッジ303		¥3,800
	印字枚数 3,500 枚 @1.40円	
カートリッジ303（大容量）		¥4,900
	印字枚数 12,000 枚 @0.63円	
カートリッジ510Ⅱ		¥7,600
	印字枚数 7,000 枚 @1.17円	
カートリッジ515Ⅱ		¥8,200
	印字枚数 9,100 枚 @0.97円	
カートリッジ515Ⅱ（30%増量）		¥8,800
	印字枚数 6,400 枚 @0.86円	
カートリッジ519Ⅱ		¥5,500
	印字枚数 8,300 枚 @0.77円	
カートリッジ519Ⅱ（30%増量）		¥6,400

RICOH	印字枚数 5,000 枚 @1.08円	
IPSiO SP3400H		¥5,400
	印字枚数 19,500 枚 @0.40円	
IPSiO SP6100H（30%増量）		¥7,800
EPSON	印字枚数 6,000 枚 @0.92円	
LPA4ETC8		¥5,500
OKI	印字枚数 2,500 枚 @1.52円	
TNR-M4A		¥3,800
	印字枚数 3,000 枚 @1.57円	
TNR-M4B		¥4,300
canon	印字枚数 5,000 枚 @0.98円	
EP-32		¥4,900

※価格はすべて税別
ご注文・お問合せは
最寄の石油組合または全石連共同事業グループ ☎03-3593-5841

洗車タオル 大量使いにうれしいお買得価格!!

手のひらサイズR型
●丈夫で長持ち ●吸水性UP
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ¥87
サイズ:約34cm×48cm 重さ:180匁（約56g） カラー:白・青・ピンク・黄色 素材:綿100%

マイクロファイバー
●抜群の吸水性 ●すぐれた耐久性 ●クルマにキズがつきにくい
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ※但し、沖縄・離島は送料別途 ¥91
サイズ:約30cm×48cm 重さ:約38g カラー:白・青・ピンク・黄色 素材:ポリエステル80%・ナイロン20%

高級マイクロファイバータオル
●ワックスやコーティング仕上げに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ¥120
サイズ:約40cm×40cm カラー:白・青・赤・黄 重さ:約61g 素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は 60 枚以上、10 枚単位 ※60 枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

マイクロファイバースクエア
●汚れが目立ちにくい鮮やかな色合い
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ¥88
サイズ:約40cm×40cm カラー:青・赤・緑・黄色 重さ:約50 g 素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は 200 枚以上、100 枚単位 ※200 枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

110匁タオル（グリーン）
●車内拭きに適したサイズ ●毛羽が出にくい
300 枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ¥58
サイズ:約33cm×40cm 重さ:110匁（約34g） カラー:グリーンのみ 素材:綿100%
※ご注文は 100 枚以上、100 枚単位 ※300 枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

手のひらサイズ200匁
●手触りバツグンのボリューム感
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ¥88
サイズ:約34cm×48cm 重さ:200匁（約62g） カラー:白・青・ピンク・緑・黄色 素材:綿100%

手のひらサイズ140匁
●女性でも絞りやすい ●洗車、窓拭きに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込） ※但し、離島は送料別途 ¥70
サイズ:約34cm×43cm 重さ:140匁（約44g） カラー:白・青・ピンク色 素 材:綿100%

※ご注文単位は1色 60 枚、180 枚以上ご注文の場合、送料無料（高級マイクロ・スクエア・110 匁は除く）。
タオル用液体洗剤 タオルクリーンSS 18Lポリ容器 ¥6,850（税別、ご希望の方には少額領収証発行）
サンプルご希望の方や商品の詳細についてのお問い合わせは、最寄りの組合または全国石油業共済協同組合連合会へ 03-3593-5841

東北
東北支局（仙台市青葉区二日町9-15 宮城県石油会館内）
022（225）1967

東北に広がる若手の輪

青森も設立 6県青年部出揃う

青森石商（大坂功理事長）の青年部がこのほど発足し、東北6県の石商に青年組織が出揃った。発足式のフリートーキングでは「海外の石油販売業界を視察したい」といった意見も出るなど、活発に活動していくことを申し合わせた。

海外視察を望む声も出た青森石商青年部の発足式

発足式には会員17人のうち10人が出席。石商副理事長も務める設立委員会の田村博文委員長（むつ市、タムラ社長・JXTG系）が「組合の最大の目的は経営を安定させ、若者が希望を持って入社してくれるSS業界にしていくことだ。元売再編でやりやすい環境は整ってきており、次の世代がタッグを組んで勉強していきたい」とあいさつした。

青年部の目的を「企業の合理化、近代化、高度化を推進するため の研修と相互連携を深め、新しい時代に向けた経営者、指導者づくりを進める」とする会則を決め、役員選出で田村氏を部会長に選出した。

フリートーキングでは「米国のSS業界を視察して刺激を受けた」「現地でコストコを見てきたので、地元に進出してきても対策のイメージができている」など、海外視察を希望する声などが示された。

その他の役員は次の通り（敬称略）。

【副会長】北山宏（黒石市、山武石油社長・昭シェル系）、小井田和哉（八戸市、八戸燃料社長・コスモ系）、小野靖之（深浦町、小野石油専務・出光系）

【幹事】丹藤昭文（弘前市、丹藤社長・JXTG系）、福田光一郎（青森市、光洋タクシー係長・JXTG系）、川崎慎吾（横浜町、川崎商店取締役・総合エネ系）

【監事】遠澤文男（田子町、丸富商事専務・JXTG系）

ホームタンク洗浄 灯油需要を下支え

メンテで安心感 夏場の要員対策も

北国で灯油需要の端境期に行われるホームタンクの洗浄事業が佳境を迎えている。灯油配送が激減する夏場の余剰要員対策と利益確保策として始めた会社が多い事業だが、結果としてタンクが長持ちし、灯油需要を下支えしている面もあるようだ。タンク洗浄は、内部に残った灯油を吸い取って洗浄機のフィルターを通し、たまったごみやさびなどの不純物を除去して再度タンクに戻す作業。洗浄機を積んだ車両で各家庭に出向く。

山形市の遠藤商事（遠藤靖彦社長・コスモ系）は10年ほど前から夏場に配送要員にあてがう業務として雪の多い山形県内陸部で始めた。3、4年サイクルの継続洗浄を薦めており、リピート率が高い。受注は年300～400件あり、2千軒近い家庭が利用している。近年は雪の少ない仙台市や山形県沿岸部地域にも導入した。

山田正弘石油部長は「タンク内から出たどろどろの不純物を見て驚き、定期的に洗浄する人が多い。顧客に安心して灯油を使ってもらえる」と話す。灯油に関する苦情の大半はタンク側に原因があるといい、クレーム対応を減らす効果も出ている。

八戸市のSS10社前後から灯油配送を請け負う八戸灯油配送センター（藤田雅裕代表）は会社発足当初から手がけてきた。15年は約260件、16年は約150件の受注があった。配送専業だけに夏場の需要減対策はSS以上に切実だ。いまでは年間変形労働時間制を採用、一部社員を夏期繁忙業種に出向させるなど業務量の均一化を図っている。

藤田代表は「要員余剰が緩和された分、タンク洗浄の営業に回る余裕がなくなったのは痛しかゆし。予約制など受注方法を検討していきたい」と話す。

灯油ホームタンクやタンク洗浄機を扱うサンダイヤ仙台営業所は「新築住宅でのタンク設置は減ったが更新需要は根強く、販売台数は減っていない。北国ではホームタンクが灯油需要の生命線。タンクを長持ちさせる洗浄事業の意味は大きい」と話している。

稼働が多い遠藤商事のタンク洗浄車

夏場に活躍する八戸灯油配送センターのタンク洗浄車

宮城 研修会概要など確認

宮城石商・協（佐藤義信理事長）は先ごろ、理事会を開き、今年度の次世代石油製品販売業人材育成事業で実施する各種研修の概要などを決めた。

「次世代自動車の構造および低圧電気取扱研修」（定員30人）、「次世代自動車の構造および点検・整備研修」（同30人）はそれぞれ9～10月に2回、「タイヤ研修」（同20人）は9～10月に1回、「災害時対応研修」（同30人）、「災害時対応実地訓練」（20人）はそれぞれ10～11月に1回開催する。

また、給油所社員招待イベントについては、10月22日の劇団四季「アンデルセン」仙台公演の観劇に100人を招待することも決めた。昨年は申込受付初日に定員をオーバーしたことから、前回漏れた49人を対象に先行受け付けを実施する。

理事会であいさつした佐藤理事長は全石連の最近の動きを紹介したうえで、「富谷市にも立地するコストコの安売りは全国的問題になってきた。出方をしっかり見守っていきたい」と述べた。

各種研修日程などを決めた宮城理事会

恒例の納涼会に 過去最高の69人

宮城石商（佐藤義信理事長）はこのほど、納涼会（サマーパーティー）を仙台市で開催した（写真）。組合員とSS関連設備企業の交流を深めようと佐藤理事長の発案で始まった企画で、今回が4回目。組合員とメーカー関係者ら過去最高の69人が参加した。

佐藤理事長のあいさつ、野口春幸副理事長の乾杯の音頭で宴が始まると、冷えたビールと料理に舌鼓を打ちながら談笑が続いた。各メーカーなど協賛による豪華賞品が当たる抽選会で、盛り上がりは最高潮に達した。

九州

九州支局（福岡市博多区千代1-15 ふくおか石油会館5階）
092（282）0908

九州昭和シェル会 一丸で課題対応へ

九州昭和シェル会（植松孝一会長）の夏季研修会がこのほど福岡市で開催され、九州・沖縄県から関係者約100人が参加した。

植松会長（写真）は「九州北部豪雨で被災された方々にお見舞い申し上げる。九州で自然災害が続いているが、石油製品の安定供給に尽力していただいていることに感謝する」とあいさつ。また、「九州昭和シェル会の開催によって将来の諸課題に対し、一丸となって取り組む」と述べた。さらに、出光興産との経営統合にも触れ、「より一層一致団結して頑張っていきたい」と強調した。

夏季研修会で講演する伊藤氏

今年度改選期を迎えた九州7県で石商・協の理事長を中心とする新しい役員体制がスタートした。経営環境が厳しさを増す中で、JXTGという強大な元売も誕生し、SS業界はいま、ナビゲーターに表示されない道を進み始めた。ハンドルを握る各県の理事長にロードマップを聞く。

◆

九州各県理事長に聞く 大分・西理事長

公正な市場の確立が急務

keyword 社 会 貢 献

大分石商・協は西謙二氏（西石油社長）の9選を決めた。同組合は毎年、「乙4」受験に向けた独自の講習会を開催、また「石油感謝の日の集い　大分リレーマラソン」を主催するなど地域貢献活動にも力を入れる。

――組合の基本理念は「信頼と協調」。新年度方針には、自己責任体制の確立、採算意識に徹した経営基盤の強化を掲げた。また人材育成とともにSSネットワークの堅持、石油製品の安定供給活動に取り組んでいる。

組合員数は減り続けている。これからも増加に転じる要素は見当たらない。現在の組合員の方々がどう生き残るかが最大の課題だ。県内の9割が「1SS・1オーナー」の販売店だ。小規模経営のSSも生き残ることができるような環境を実現しなくてはならない。そのためにはなによりも、正当な収益を得ることができる公平・公正な市場でなくてはならない。組合としてできる限りの努力をしたい。

厳しい環境の中で組合としてできることは、みんなで知恵を出し合うことだ。多くの知恵を出し合えばきっとプラスの方向が見えるはずだ。

――SSの人手不足が深刻になっている。多くのSSが「募集しても集まらない」という悩みを抱えている。新規採用が困難ということは働いているスタッフの負担増ということであり、ますます厳しい事態になっている。

人手不足は難しい問題だ。様々な要因が複雑にからんでいるし、個々のSSによっても事情は異なる。今後の方向性を示すキーワードの1つが「地域貢献」だと思う。あの店はこのような地域貢献をしているという好イメージが浸透すれば、地元の若い人が就職を希望する。逆に良くないイメージはマイナスになる。

手前みそになるが、私のモットーは「地元を大事にせんじ、どげえすんの！」。名刺にもこの言葉を印刷し、地域貢献や社会貢献を社是にしている。おかげで毎年新卒者採用をすることができている。

毎年秋に開催している「石油感謝の日の集い　大分リレーマラソン」は多くの参加者があり、県民のスポーツ大会として定着している。石油の大切さを知っていただく場であり、SSのイメージアップにも貢献していると思う。

――2019年の「ラグビーワールドカップ」が大分県でも開催されることが決まっており、地域活性化にもつながることが期待されている。大分市や別府市などがキャンプ地誘致に名乗りを上げている。

世界の20ヵ国のチームが出場する大きな大会だ。大会では3試合が行われる予定だ。大会はもちろんだが、キャンプ地に選ばれれば地域への好影響が期待される。世界中に名前が知られる。SS業界にもプラスになることは確かで、石商としてもなんらかの形で協力できればと思っている。

――昨年4月の「熊本地震」は大分県にも大きな被害をもたらした。なかでも別府や由布院などの観光地では旅館やホテルのキャンセルが相次ぎ、地域経済にも大きなダメージを与えた。

半年間は地獄だった。観光客は激減した。町全体が沈み込み、SSの給油客も減ってしまった。しかし、今年になってかなり持ち直してきた。観光客も少しずつ増えてきた。時間がかかるだろうが、皆で復興のために知恵を出し合いたい。

経営統合について意見交換する熊本支部長会

経営統合による業転減少に期待

熊本石商・協（三角清一理事長）は先ごろ熊本市で支部長会を開き、経営統合したJXTGの仕切り一本化の影響などについて意見交換した。

三角理事長は市場環境について「経営安定に必要な収益が確保されている状態には達していない。統合によって市場に出回る業転が減れば、安売りは難しくなる」とする一方で、「仕切価格が一本化されても、いまのところ安売り店の攻勢が弱まっているという印象はない」という見方を示した。また後継者難を含めて、人手不足は深刻化し、需要減少が続く中でSSが経営を続けていくためには「最終的には自分の店は自分で守るという覚悟を持たなくてはならない」（三角理事長）と集約した。

運転手の高齢化対策としての活用も視野に入れる」としている。

大分市で自動運転走行実験

大分市は8月17～21日、市内で自動運転の社会実験を実施する。フランスのイージーマイル社製の車両を使用、大分マリーンパレス水族館「うみたまご」と田ノ浦ビーチ間の国道10号（約1キロメートル）で、観光客を乗せて走る。運賃は無料。

GPSによって設定したコースを走行し、前後のバンパーなどに備えたセンサーで障害物を感知。コースは、別府湾の景色が楽しめる観光の重点地区。市は「観光面の効果を検証し、交通弱者やバス

走行実験に使われる自動運転車（同型車）

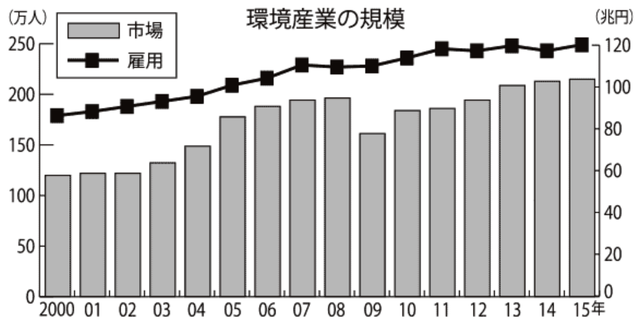
TMG TOMINAGA MFG CO
"燃料供給システム"の明日に取組む
人へ。社会へ。未来へ。
～安心・安全をトータルサポート～
緊急災害時用燃料油ポンプ
足こぎ式なので大量給油もスムーズ、ラクラク!
■ 緊急車両への給油
■ 暖房用灯油の注油
■ A重油にも対応
http://www.kyoto-tmc.co.jp
「住民拠点SS整備補助事業」対象製品
洗練された高機能「シンプル＆スタイリッシュ」
AceMulti（エースマルチ）
■ 視野角の広い高輝度表示器 ■ 超軽量・抗菌ノズル ■ 消費電力を抑えた省エネ設計
ワンランク上の「機能×デザイン」
LongAce（ロングエース）
■ 音声ガイダンス機能 ■ ダウンフロー機能 ■ 大型表示カウンター ■ 超軽量・抗菌ノズル
「NEXT DESIGN＋NEXT FUNCTION」
Silkyline（シルキーライン）
■AQUATECT（水検知）機能 ■ECOストップ機能 ■シグナルランプで給油状態表示 ■過量検知機能
株式会社富永製作所 〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88 営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-0717
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312
東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180
関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606
高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118
事業所・代理店／全国主要39都市

トレンドファイル

市場104兆円、雇用249万人いずれも過去最大

環境省がこのほど公表した「環境産業の市場規模・雇用規模等の推計」結果によると、2015年の国内市場規模は前年比1・4％増、00年比では1・8倍の104兆円で過去最大となった。また、全産業に占める環境産業のシェアは00年の6・2％から11・3％に増え、日本経済への影響が増していることがわかった。

一方、雇用規模は前年比2・7％増、00年比1・4倍の249万人と過去最多へ上昇した。



環境省　2015年環境産業規模推計

市場規模推計を分野別にみると、「環境汚染防止」は2005年以降、サルファーフリーガソリン・軽油を加えたことで化学物質汚染防止が増加し、00年比では3・8倍の14兆円（うちサルファーフリーガソリン・軽油9億円、動車レンタル4500億円、カーシェア180億円）などだった。

分野別雇用規模推計は「環境汚染防止」が00年比27％減の12万人、「地球温暖化対策」はエコカーなどが急伸し、9・9倍の38兆円（エコカー17・5兆円。うち内需分の低燃費・低排出ガス車が6・2倍の63万人（うち小売業7・5万人、自動車レンタル1万人）となった。また、環境産業の経済波及効果推計は推計206兆円と、市場規模の2倍に達する。効果が大きい部門の上位として、4位にサルファーフリーガソリン・軽油の13・3兆円、6位に内需分の低燃費・低排出ガス認定車の10・7兆円、8位にHVの6・6兆円などがランクされた。

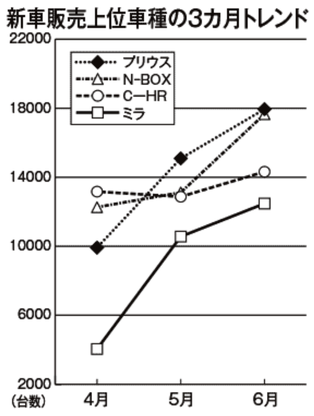
なお、同省の次世代自動車普及戦略では、ガソリン車の保有台数は20年に7042万台、30年に6280万台、50年には5440万台と見込んでいる。

環境

11ヵ月連続前年上回る

6月・新車販売台数

	2017年6月	前年比
登録車総販売台数	315,744	9.7%
①普通乗用車	143,427	6.0%
②小型乗用車	130,573	15.6%
軽4輪車総販売台数	161,725	21.5%
③軽乗用車	122,449	27.5%
④軽貨物車	39,276	5.8%
登録車+軽4輪車	477,469	13.4%



日本自動車販売協会連合会（自販連）と全国軽自動車協会連合会が集計した6月の国内新車販売台数は、登録車が前年比9・7％増の31万6千台となり、11ヵ月連続で前年実績を上回った。また、軽4輪車は21・5％増の16万1700台となり3ヵ月連続で前年実績を上回った。

ブランド別では1位がトヨタ・プリウスとなり、ホンダ・N－BOXが2位となった。3位にはトヨタ・C－HRが続く。

カーライフ

2ヵ月連続でプリウスが首位

3ヵ月トレンド

直近（4～6月）の新車販売トレンドをみると、トヨタ・プリウスが2ヵ月連続で首位となった。2位はホンダ・N－BOXとなり、トヨタ・C－HRは3位と、前月同順位になった。

ダイハツ・ミラは5月に発売したミライースが好調を維持し、前月と同様に4位を堅持した。また、日本車を含めた輸入車総数は前年比0・9％増の3万5528台となり、2ヵ月前年実績を上回った。

輸入車新規登録台数　（単位:台）

	2017年6月	前年比(%)
乗用車	32,060	3.6
貨物車	81	14.1
外国メーカー車	32,142	3.6
乗用車	1,927	▲33.8
貨物車	1,459	15.4
日本メーカー車	3,386	▲18.9
乗用車	33,987	0.4
貨物車	1,540	15.4
輸入車総計	35,528	0.9

6月・輸入車新規登録

前年比0.9％増

日本自動車輸入組合が集計した6月の新規輸入車登録台数は、外国メーカー車が前年比3・6％増の3万214台と、15ヵ月連続で前年実績を超えた。

6月 新車販売台数ベスト20　（単位:台、％）

順位	通称名	メーカー名	台　数	前年比
1	プリウス	トヨタ	17,946	▲37.7
2	N-BOX	ホンダ	17,653	13.0
3	C-HR	トヨタ	14,318	—
4	ミラ	ダイハツ	12,475	83.4
5	ヴィッツ	トヨタ	11,743	80.1
6	ムーヴ	ダイハツ	11,699	78.8
7	ノート	日産	11,601	45.8
8	アクア	トヨタ	11,453	▲23.9
9	タント	ダイハツ	11,342	▲8.1
10	デイズ	日産	10,937	—
11	シエンタ	トヨタ	9,646	▲11.9
12	ワゴンR	スズキ	9,340	37.6
13	フリード	ホンダ	9,151	277.5
14	スペーシア	スズキ	8,757	39.0
15	フィット	ホンダ	8,738	▲12.1
16	インプレッサ	SUBARU	8,480	190.0
17	カローラ	トヨタ	7,727	3.2
18	アルト	スズキ	7,435	▲4.9
19	セレナ	日産	7,252	9.9
20	ルーミー	トヨタ	6,756	—

※□は軽自動車

4ヵ月連続で前年超

5月・中古車販売台数

	2017年5月	前年比
登録車総販売台数	333,576	5.4%
①普通乗用車	156,456	7.0%
②小型乗用車	133,331	4.0%
軽4輪車総販売台数	449,168	1.9%
③軽乗用車	353,399	3.0%
④軽貨物車	95,769	-2.1%
登録車+軽4輪車	782,744	3.4%

6月の中古登録車販売台数は、5・4％増の33万3600台となり、4ヵ月連続で前年実績を上回った。

普通乗用車は7％増の15万6500台となり、小型乗用車は4％増の13万3300台と4ヵ月連続で前年実績を上回った。

ZENSEKI

web アンケート

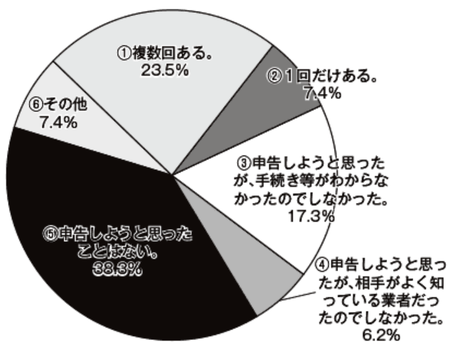
7月テーマ

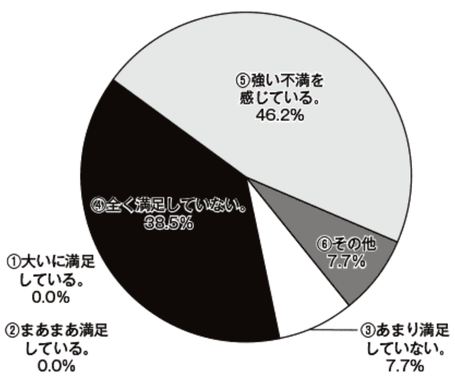
不当廉売について

「ぜんせきweb」読者アンケート・7月テーマ「不当廉売について」の結果によると、「不当廉売の申告をしたことがあるか」との問いに対して、「複数回ある」「1回だけある」を合わせても31％にとどまり、「ない」の38％を下回った。申告した結果については「注意」が55％を占め、こうした結果に対しては「強い不満を感じている」46％、「全く満足していない」39％と、業界内の不満が大きいことが明らかとなった。

「過去に不当廉売の申告をしたことがあるか」との問いに対して、「複数回ある」24％、「1回だけある」7％を合わせても31％にとどまり、「申告しようと思ったことはない」の38％を下回った。ただ、「申告しようと思ったが、手続き等がわからなかったのでしなかった」17％、「申告しようと思った」17％、「申告しようと思ったが、相手がよく知っている業者だったかについては、「注意」が46％で最多、次かわるこうした一連の結果に対しては、「強い不満を感じている」が30％で最多、「ガイドラインをもっと明確化し、公平に判断できるようにしてほしい」25％、「必要経費・口銭に問題がないなら、差別対価を疑って調査を掘り下げてほしい」21％と続き、「期待していないので、希望することはなにもない」も19％を占めた。

「その他の意見」でも、「石油はガスや電気と違い基本料金がないうえ、守るべきモラルのない企業が多すぎる。灯油混入やガソリンへの水混入など、大した罰金も払わずお咎めもなく、なんでもありの世界。公取の存在自体が、無駄な税金を使っていることに他ならない」と、問題の本質を示唆する意見もあった。





「申告経験なし」38％

大多数が結果に強い不満も

一方、申告してから「あまり満足していない」の8％を合わせると、不満に感じているかりすぎ」が75％と4分の3を占め、「妥当な期間」との答えは13％に過ぎなかった。まあ満足している」「まあ満足している」はた、「予想以上に早かった」との答えは0％だった。

不当廉売の申告にかかわらず、「厳罰を科して抑止力としてほしい」が30％で最多、「ガイドラインをもっと明確化し、公平に判断できるようにしてほしい」25％、「必要経費・口銭に問題がないなら、差別対価を疑って調査を掘り下げてほしい」21％と続き、「期待していないので、希望することはなにもない」も19％を占めた。

「その他の意見」でも、「石油はガスや電気と違い基本料金がないうえ、守るべきモラルのない企業が多すぎる。灯油混入やガソリンへの水混入など、大した罰金も払わずお咎めもなく、なんでもありの世界。公取の存在自体が、無駄な税金を使っていることに他ならない」と、問題の本質を示唆する意見もあった。

6月概況

G、灯油とも大幅悪化

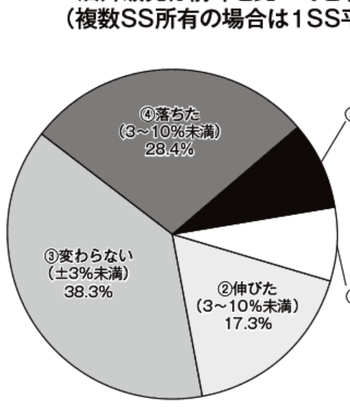
卸平均は税抜き108・9円

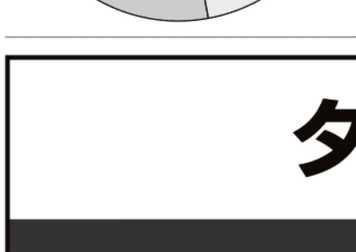
業況・卸価格アンケート結果によると、回答者の属性は、JX37％、出光9％、昭和シェル10％、コスモ15％、東燃ゼネラル12％、その他17％。2者51％、3者41％、その他8％だった。

6月のガソリン販売量は前年比で「伸びた」21％（前月25％）、「大幅に伸びた」1％（4％）で合計で7ポイント減少。「落ちた」31％（23％）、「大幅に落ちた」6％（4％）で、こちらは合計で10ポイントも増加と、ほぼ横ばいの5月に比べ大きく悪化。

一方の油外は「伸び」と、前月より2ポイント減少した。

6月1ヵ月平均のレギュラーガソリン卸価格（1kl、系列仕切り、消費税抜き）は、最高128・5円（前月134・0円）、最低103・5円（103・5円）で、平均価格は108・9円（113・2円）と、前月より4・3円も下落。6月もわずかに値下がりとなった。





タツノの「住民拠点SS整備補助事業」対象製品

TATSUNO

QF-1001（標準型）

災害時の一刻も早いSS再開のために

SS向け緊急用発電機の発売から11年。
タツノはこれからも災害対応製品の提供を通じてSSの地域社会への貢献をお手伝いしてまいります。

QF-1001（架台型）

DGM80BMK/TAT（中型）

緊急用バッテリー可搬式計量機

上記以外にも豊富なラインナップを取り揃えております。　詳細は、弊社支店・営業所にお問合せください。

株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　http://www.tatsuno.co.jp/　Tel 050-9000-0567（営業本部営業部）